

# 職員向け 児童発達支援評価表

令和 6年 3月  
てとてのキッズ

事業所名：てとてのキッズ（児童発達支援）

職員数：10名 回収数：10名 回収率：100%

調査期間：令和6年2月14日～3月8日 公表日：令和6年4月5日

◎ この「事業者向け 児童発達支援自己評価表」は、児童発達支援に配置する職員で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	0	・現在部屋のスペースが足りないの で、増床等希望。	・利用定員数に対して、十分に広いス ペースになっています。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	5	5	0		・4名の保育士に加えリハビリ専門職3 名を配置しています。職員の急な休みの 時は、多機能型事業所での他事業所の協 力のもと見守りなどのサポート体制をお こなっています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造 化された環境になっているか。また、 障害の特性に応じ、事業所の設備等 は、バリアフリー化や情報伝達等への 配慮が適切になされているか	3	7	7	0	・洗面台の設置場所やカーテンの配 置等。	・療育室はバリアフリーになっておりま す。洗面台はステップ台を置き、適切な 高さで使用できるように配慮をしており ます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ご せる環境になっているか。また、子ども 達の活動に合わせた空間となっている 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標 設定と振り返り)に、広く職員 が参画しているか	5	4	4	0		・療育前および営業終了時には、必ず室 内のマットや玩具等の消毒を毎回実施し ています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイ クル(目標 設定と振り返り)に、広く職員 が参画しているか	7	2	2	1		・月に1回、リハビリ専門職と保育士と ケーススタディを行い業務改善を図って います。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等 に対して事業所の評価を実施すると ともに、保護者等 の意向等を把握し、業 務改善につなげているか	10	0	0	0		・年に一度、保護者向け評価を実施しそ の結果の情報共有に努めています。また 改善策についての協議検討の会議を設 けていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け 評価 表の結果を踏まえ、事業所として 自己評価を行うとともに、その結果に よる支援の質の評価及び 改善の内容を、 事業所の会報やホームページ等 で	8	0	0	2		・年に一度、保護者向け評価を実施しそ の結果の情報共有に努めています。また 改善策についての協議検討の会議を設 け、その後ホームページに掲載するよう に努めています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結 果を業 務改善につなげているか	3	2	2	3	・外部評価等あれば、閲覧可能が良い と思う。	・第三者による評価については、必要性 を十分に実感しておりませんが、評価の実 施に至っておりません。次年度の取り組 み課題として受け止めています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修 の機会を確保しているか	10	0	0	0	・発達支援に対する勉強会、ケ ーススタディを月2回以上実施してい る。	・毎週セラピスト勉強会を行い、また、 定期的に(月2回以上) ケーススタディ や発達学習会を行い事業所内研修を実施 利用開始前には主にCOPM評価を用いてま す。保育園・幼稚園での聞き取り、医療 機関の情報収集を行い、個別支援計画を 作成しております。
適切な支 援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子ども と保護者のニーズや課題を客観的に分析 した上で、児童発達支援計画を作成し ているか	10	0	0	0	・専門職と連携をしながら発達支援 に対して評価を計画書に反映させて いる。	・担当の作業療法士が発達個性に応じた アセスメントツールを実施しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るため に、標準化 されたアセスメントツール を使用しているか	8	1	1	1	・初期評価として専門職よりアセ スメント表を用いて保護者へ聞き取り を行っている。	・発達支援に加えて、保護者のニーズに こたえる家族支援、地域との連携も視野 に入れた作成に努めています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援 ガイドラインの「児童発達支援の提供 すべき支援」の「発達支援(本人支援 及び移行支援)」、「家族支援」、 「地域支援」で示す支援内容から 子 どもの支援に必要な項目が適切に選択さ れ、その上で、	10	0	0	0	・項目を明確にし、個別支援計画書 に反映している。 支援内容が長期の場合もある為、見 直す時間も必要だと思う。	
適切な支 援の提供	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行 われているか	10	0	0	0	・目標に対しての評価観察を利用毎 行い記録をしている。 プラスである場合は職員間で話し合 	・支援開始前に、個別支援計画の職員周 知に努めています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行 っているか	10	0	0	0	・話し合いの時間をもう少し設けて 頂きたいと思う。	・月初めに、翌月の活動プログラムの立 案を話し合う機会を設けています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう 工夫しているか	6	4	4	0	・安全性を考える思考が片寄る場合 もある為、今後はもう少し話し合い の場を作りたい。	・活動計画は、特別な場合を除き別単位 の児童発達支援の計画を参考にしてお ります。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集 団活動を適宜組み合わせる児童発達支 援計画を作成しているか	9	1	1	0		・発達課題に応じた集団療育が実施され ています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せ をし、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認しているか	8	2	2	0	・来所時間が早い子もいる為、毎日 は出来ない。 ・当日利用児の色々なケースが生じ る為、臨機応変に対応する。	・児童発達支援と放課後等デイサービ スを、一体的にサービス提供しているた め、朝礼ミーティングは毎日実施してい ます。出席できていない職員のために掲 示板にて周知に努めています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せ をし、その日行われた支援の振り返り を行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	3	0	・遅くまで利用されている子がおり、 出来ない事もある。 ・話し合いの時間がとれていない。 ・職員だけで最低でも週1回、共有す る時間を設けたい。 ・毎回は時間的に困難だと思う。	支援終了後、情報共有の場は設けていま す。非常勤の職員への伝達等を工夫して いきたいと思えます。 ・支援終了後には各リウーと児発管は 共有する時間を持つようになっています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげて 定期的モニタリングを行い、児童発達 支援計画の見直しの必要性を判断し	10	0	0	0		・毎日経過記録を記載しています。課題 発生時は上司や管理者との共有に努めて います。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当 者会 議にその子どもの状況に精通した 最もふさわしい 者が参画しているか	9	0	0	1		・個別支援計画更新時には必ずモニタ リングを実施していきます。
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関 係者や関係機関と連携した支援を行っ 	8	0	0	2		・会議の検討項目に応じて最も適した専 門職(児発管・保育士・作業療法士)が 会議に出席できるようにしています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関 係者や関係機関と連携した支援を行っ 	8	1	1	1	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	1	1	・利用児のかかりつけ医療機関との情報共有をおこなっています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	0	3	・受診時には、児童発達支援での経過記録を保護者に持参いただけるように文書を作成し渡すようにしています。また、必要に応じて医師の意見を情報収集いただくように保護者に働きかけています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	0	1	・皆が周知出来るツールが必要だと思う。	・保育所等での過ごし方を観察や集団の中での様子を聞き取りに伺い、発達支援に反映できるよう支援をおこなっている。また、療育の様子もフィードバックし、特別支援学級や保育所、認定こども園に対して情報共有及び相互理解を深める機会を実施しました。引き続き努めていきたいと思っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	1	1	・皆が周知出来るツールが必要だと思う。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	4	2	・今後は外部研修も必要だと思う。	・現時点では研修の実施に至っておりません。次年度の取り組みとして計画していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	3	1	・法人内保育園の園児と合同での活動も実施している。 ・コロナ禍も様子を見て収まる様であれば、活動機会も必要である。	・同一法人内に保育園が設置されています。協働して玉ねぎの苗を植えたり、収穫したり、中庭で一緒に遊んだり交流の場を設けております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	3	2	・今の所ないので、今後は検討有り。	・子ども部会の研修に参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	0	・保護者に寄り添い、困り事などアドバイスする。	・保護者とは毎日の来所時に情報共有に努めております。また課題発生時には児発管、管理者との共有をおこなっています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者向けの学習会の機会が設けられているか	7	2	2	1	・年1設けられて有り良いと思う。	・連絡帳を通して情報共有や発達支援を行っています。また希望者に対しては対面での相談も受けており、来年度も引き続き実施していきたいと思っております。
	保護者の説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	3	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	0	1	・現状維持である。	・発達支援、家族支援、地域支援に分けて説明をおこない、同意を得るようにしています。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	1	0	・保護者に寄り添い、困り事などアドバイスする。	・連絡帳を通して情報共有や発達支援を行っています。また希望者に対しては対面での相談も受けており、来年度も引き続き実施していきたいと思っております。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	3	・保護者同士話す機会も有り良いと思う。	・来年度はお茶の会や情報交換会、学習会などの保護者会を実施しました。次年度も引き続き計画していきたいと思っております。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	0	・児発管・職員間で話し合いを進めている。	・相談内容に応じて専門職の面談対応に務めています。現状では、管理者、児童発達支援管理責任者もしくは作業療法士が対応いたします。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	0		・月に1回、児童発達支援事業所のお知らせ(キッズだより)を発行しています。
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	0	0	・保護者への確認もきちんと行っている。	・事業所利用開始時に個人情報取り扱いの同意書を作成し、それに沿った運用をおこなっています。発信前のダブルチェックの仕組みを作っております。
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	0		・出来るだけ個別にて情報を伝達しています。必要性に応じて視覚支援や文書での疎通を図るように努めています。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	3	1	・地域合同の避難訓練も計画している。 ・今後は積極的に活動していき、利用児と地域の方々の活性にも繋げて保護者への周知の徹底は行う必要が有る。	・感染対策に留意しながら、可能な行事活動の計画立案に努めております。
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	1	1	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3	3	0	・毎月避難訓練を実施している。また法人内で合同の訓練も年2回以上は行っている。 ・時間等により紙芝居形式で利用児に伝えている。	・毎月、別単位の児童発達支援の児童とともに防災訓練に参加しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	0	0	個人ファイルや連絡帳で確認。	・頓服薬につきましては、お薬残り証を交わして管理しています。また必要に応じて協力医療機関の医師にたずねる体制をもっております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	1	1		・おやつ提供については、利用開始前にアレルギーについての文書での聞き取りを保護者に対しておこなっています。医師との連携については給食においてのみ(児童発達支援)主治医師より情報提供書を作成、連携していただき事業所協力医師が法人内管理栄養士(厨房)に指示し、アレルギーは全て事業所内で作り、反省・課題・対応策を共有しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	0	0		・委員会の設置を行い、職員研修も行った適切な対応ができるよう努めております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に	7	1	1	2		・委員会の設置を行い、職員研修も行った適切な対応ができるよう努めております。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。